

「日本の景観を良くする国民運動推進会議」全国大会

日時 平成19年6月1日（金）

会場 ニッショーホール（日本消防会館）

（司会） 皆様、大変長らくお待たせいたしました。ただいまから、「日本の景観を良くする国民運動推進会議」全国大会を始めさせていただきます。私は本日の司会進行を務めさせていただきます秦陽子と申します。どうぞよろしくお願いいたします（拍手）。

それでは開演に先立ちまして、「日本の景観を良くする国民運動推進会議」の主催者のご紹介をさせていただきます。桜井正光会長（拍手）。荒木英昭副会長（拍手）。立石真副会長（拍手）。鹿野久男副会長（拍手）。

それでは、主催者を代表しまして、桜井会長より皆様にご挨拶を申し上げます。桜井会長、よろしくお願いいたします。

主催者挨拶

桜井 正光 氏（日本の景観を良くする国民運動推進会議会長）

このたび、北城格太郎前会長の後任としまして、「日本の景観を良くする国民運動推進会議」の会長に就任しました桜井正光です。よろしくお願いいたします。本大会の主催者を代表しまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。本日はお忙しい中、ご来席をいただきました来賓のかたがた、そして基調講演をさせていただく川勝先生、パネリストの皆様がたをはじめ、多くの方々にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、推進会議は、景観に関する我が国初の総合的な法律である景観法が平成17年6月1日に施行されたことを受けまして、地域住民、事業者、そして地方公共団体や国が一体となって、よりよい景観づくりに向けた活動を展開することを目的に、昨年4月に設立されました。本日、昨年引き継ぎまして、多くの皆様のご参加の下、3省のご協力を得て、この景観の日に国民運動推進会議全国大会が開催できましたことは、大変に意義深いものであり、喜ばしく思っております。私は経済同友会代表幹事に就任して以来、経済や企業の活性において、また構造改革においても、弱点の分析や改善ではなく、むしろ強みや良さを磨き上げる、強化する、いわば強さからのスタートが必要ではないかということを念頭に、同友会の中でもいろいろと議論がスタートしました。このような視点は、我が国の景観を考えるうえでも大変重要なことだと私は思っております。

私は海や川から見る夜景が大好きで、いろいろな国でクルージングを楽しんでまいりました。そのたびに、ニューヨークやパリ、香港、フランクフルト等々、それぞれの土地が持つ、陸上で見るものとはひと味違った表情に感動を覚えてまいりました。仕事で欧州に駐在していた際にも、歴史的な伝統や独特の美意識に裏づけられた町並みの美しさに大変深い印象を覚えました。もちろん日本にもさまざまな土地に素晴らしい景観があります。しかし一方、諸外国、特に欧州のような例に比べますと、残念ながら日本の都市においては、景観や都市の顔に対する意識がいまひとつ成熟していないのではなかろうかと思えてなりません。日本にしかない景観、風土の魅力というものは、我々にとってかけがえのない貴重な財産です。そして、ほかならぬ私たち自身がその価値を再発見して、大切に、発信していくことが不可欠であろうと思います。そうすることによりまして、日本の魅力や存在感がますます高まっていくのだろうと考えています。

そうした意味でも、「日本の景観を良くする国民運動推進会議」の活動は大変重要なものであると考えております。引き続き、皆様のご支援をいただきたく、よろしくお願いいたします。

本日は、都市景観大賞「美しいまちなみ賞」、美の里づくりコンクール、自然公園写真コンクールの各賞の表彰も行われます。受賞者の皆様には心よりお祝いを申し上げますとともに、皆様の活動が美しい景観づくりに向けた国民的な運動の推進につながることを大変期待しております。

最後に、本日の全国大会が大変実りあるものとなりますようご祈念申し上げて、私の挨拶に代えさせていただきますと思います。ありがとうございました（拍手）。

（司会） 桜井会長、ありがとうございました。

